

# 1

2021

## 三重病院

# ニュースレター

news letter vol.257

- 01 年頭のご挨拶:2021
- 02 新年のごあいさつ
- 03 新年のごあいさつ
- 04 臨床研究部からのお便り-第32回-  
異動のごあいさつ
- 05 医療安全便り vol.18  
やまばとギャラリー情報コーナー  
三重病院のウォーキングコース-Vol.2-  
病院からのお願い
- 06 外来からのお知らせ  
外来診察のご案内



## 年頭のご挨拶：2021

国立病院機構三重病院 院長 藤澤 隆夫

世界中がコロナに揺さぶられた2020年でしたが、新しい2021年がこの試練を乗り越え、皆様にとって、素晴らしい年になることを心よりお祈りします。

### コロナ禍を乗り越えるために

今、私たちは一生懸命考えています。この災禍を乗り越えるために何をすればいいのか、この災禍を通して、どのように私たちが変わらなければならないか。

コロナは世界の隅々まで猛威を振るいましたが、その影響の強弱には大きな差がありました。より弱い立場の人が、より深刻な打撃を受けたと伝えられています。でも、一方では、みんなで力を合わせよう、弱い立場の人たちと一緒に乗り越えよう、という思いも広がっているのは救いです。これまでも、人類は試練を与えられたときに、一人一人のために、と知恵を絞ったとき、進歩を勝ち取ってきましたから、今の試練も例外ではないと信じています。

ですから、今たいせつなのは、みんなのために、目の前のある問題へひとつひとつ取り組んでいくことではないでしょうか。そうすれば、いつか大きく開ける青空がみえるはずです。

### 三重病院が取り組みたいこと

三重病院は、目の前のこととして、次の三つに取り組んでいきたいと思えます。

#### 1) 社会的弱者を支える総合成育医療機関

ひとつは、これまでも病院の位置づけとして掲げてきた「小さな子どもから高齢者まで社会的弱者を支える総合成育医療機関」の役割をしっかりと続けます。昨年12月に、公益財団法人日本医療評価機構による「病院機能評価」を受審しましたが、サーベイヤーの方から、「むずかしい患者さんを受け入れられて、良い医療をされています。職員の結束力が良いですね」

という、ありがたいお褒めの言葉をいただきました。職員は皆、当たり前のことを行っているつもりではありませんが、第三者から認めていただいたことはとても励みになりました。これまで以上に「小さな子どもから高齢者まで」を支える仕事に専心したいと思った次第です。今、コロナ禍にあって、面会の制限など皆様には何かとご不便をおかけしていますが、これも患者様を守りたいという気持ちからとご理解いただければ幸いです。

#### 2) 新しいことへの挑戦

二つ目は、新しいことに取り組むことです。コロナは世界の様相を大きく変えてしまいました。医療の世界も例外ではなく、とくに病院経営という面で少なからぬ影響を受けています。でも、その変化に対応できなかったら、つまり健全な経営が続けられなかったら、良質な医療を提供する力、自体を失ってしまうこととなりますから、私たちは、どう新しい時代の医療を作っていくか、いかに新しいニーズに応えていくか、を考えています。皆様の声もたいせつにしたいと思えますので、どうか忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

#### 3) 明るい気持ちで

三つ目は、明るい空気をつくることです。私たちはこの三重病院に来ていただいた方が安心され、明るい気持ちになれるような環境にしたいといつも願っています。そのためには、まずは、つらい立場にある方のために心をこめて働くのがたいせつですが、もうひとつは、これが私たちにとって「楽しい」ことがポイントと考えています。それぞれ個性はありますが、三重病院の職員は皆「楽しく」働きますので、どうか応援してください。

2021年が、本当に良い年で  
ありますように。

